

科学のふしぎ体験教室＜音って何だろう＞ (記：高松真津子)

1. 実施日時：2026年05月23日(土) 13時～15時30分
2. 実施場所：大阪市教育会館東館305号室
3. 実験テーマ：＜いろいろなもので音実験＞ もの作りテーマ：＜コケッコー＞
4. 講師及びスタッフ：高松・百々・笠原・川合・大原・桑村・山田・奥田・小野恭子・林・横山
5. 参加児童：36名
6. 評価

「楽しさ」

5. ***** 22名
4. **** 4名
3. *** 3名 2. * 1名 1. 0名

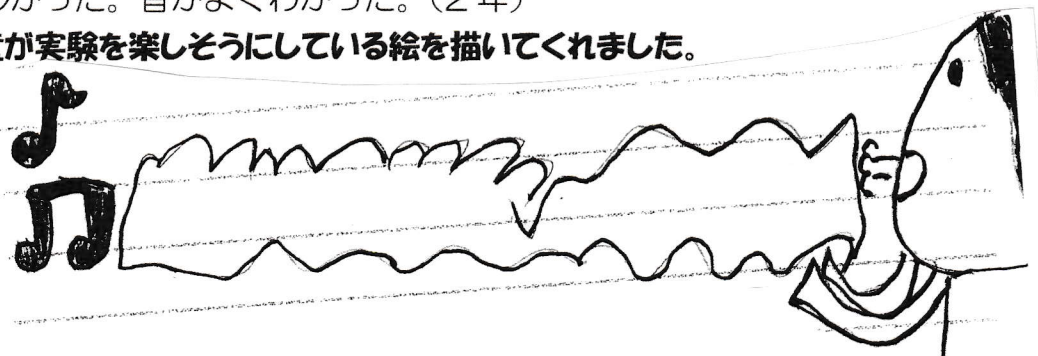
「内容」

5. ***** 19名
4. ***** 8名
3. ** 2名 2. 0名 1. 0名

7. 感想 (同じ内容の感想は省略しました。)

- ・じゃばらのチューブをふりまわしたら、音が出るのに、びっくりした。(2年)
- ・とてもスプーンや鉄のものでなにかをたたくと、いろいろな音が聞こえました。メロディーパイプをふりまわすのもおもしろかったです。ヒューヒューとなりました。(2年)
- ・スプーンにたこひもをつけてゆびにまきつけて音を聞くのがたのしかったし、サンダードラゴンもかみなりみたいな音がしてカッコ良かったです。(2年)
- ・スプーンとかで「カーンカーン」ってなったのがおもしろかったです。(2年)
- ・じゅぎょうがよく分かった。(3年)
- ・たのしかったし、おべんきょうがしっかりできました。(3年)
- ・ニワトリのこえになった。(年)
- ・たのしかったからまたくるね。(年)
- ・すごくたのしかった。音がよくわかった。(2年)

★何人もの児童が実験を楽しそうにしている絵を描いてくれました。



8. 振り返り

1回目の「科学のふしぎ体験教室」でしたが、去年から引き続き、来てくれている子ども達もいて、「やあ久しぶり！！」という感じでスタートしました。科学実験教室が定着しているのを感じられ、うれしかったです。子ども達の意見の中で二人が違う意見を発表していたことが大変興味深く、思わず「すごい！！しっかり自分の考えを言えるんだね！！」感心してしまいました。初めてのスタッフの方々にとっては要領が分からず、大変だったのでは？と心配しましたが、写真を見ると子ども達に寄り添ってくださっているので、ありがとうございました。休憩中の音遊びでは、グラス体験や蛇腹パイプ体験をしてもらいましたが、グラスの音が鳴りにくい子どもがいたのが、残念でした。鳴らし方についてもう少し詳しく教える時間が必要だったと思われます。